

写真図版



1 調査前の松原前遺跡



2 調査区遠景（空中写真）

図版 2



1 第1号住居跡遺物出土状況



2 第2号住居跡遺物出土状況



1 第 1 号住居跡完掘状況



2 第 2 号住居跡完掘状況

図版 4



1 第1・2号住居跡完掘状況



2 第1・2号住居跡掘り方



1 第1号溝跡完掘状況



2 土壇群完掘状況

图版 6



1 第1·2号土壤完掘状况



2 第3号土壤完掘状况



3 第4号土壤完掘状况



4 第5·6号土壤完掘状况



5 第7号土壤完掘状况



6 第8号土壤完掘状况



7 第9号土壤完掘状况



8 第10号土壤完掘状况



1 第 11 号土壤完掘状况



2 第 12 号土壤完掘状况



3 第 13 号土壤完掘状况



4 第 14 号土壤完掘状况



5 第 15 号土壤完掘状况



6 第 16 号土壤完掘状况



7 第 17 号土壤完掘状况



8 第 18 号土壤完掘状况

图版 8



1 第 19 号土壤完掘状况



2 第 20 号土壤完掘状况



3 第 21 号土壤半截状况



4 第 22 号土壤完掘状况



5 第 23 号土壤完掘状况



6 第 24 号土壤完掘状况



7 第 25 号土壤完掘状况



8 第 26 号土壤完掘状况



1 第1号住居跡出土遺物 (第11图1)



2 第1号住居跡出土遺物 (第11图2)



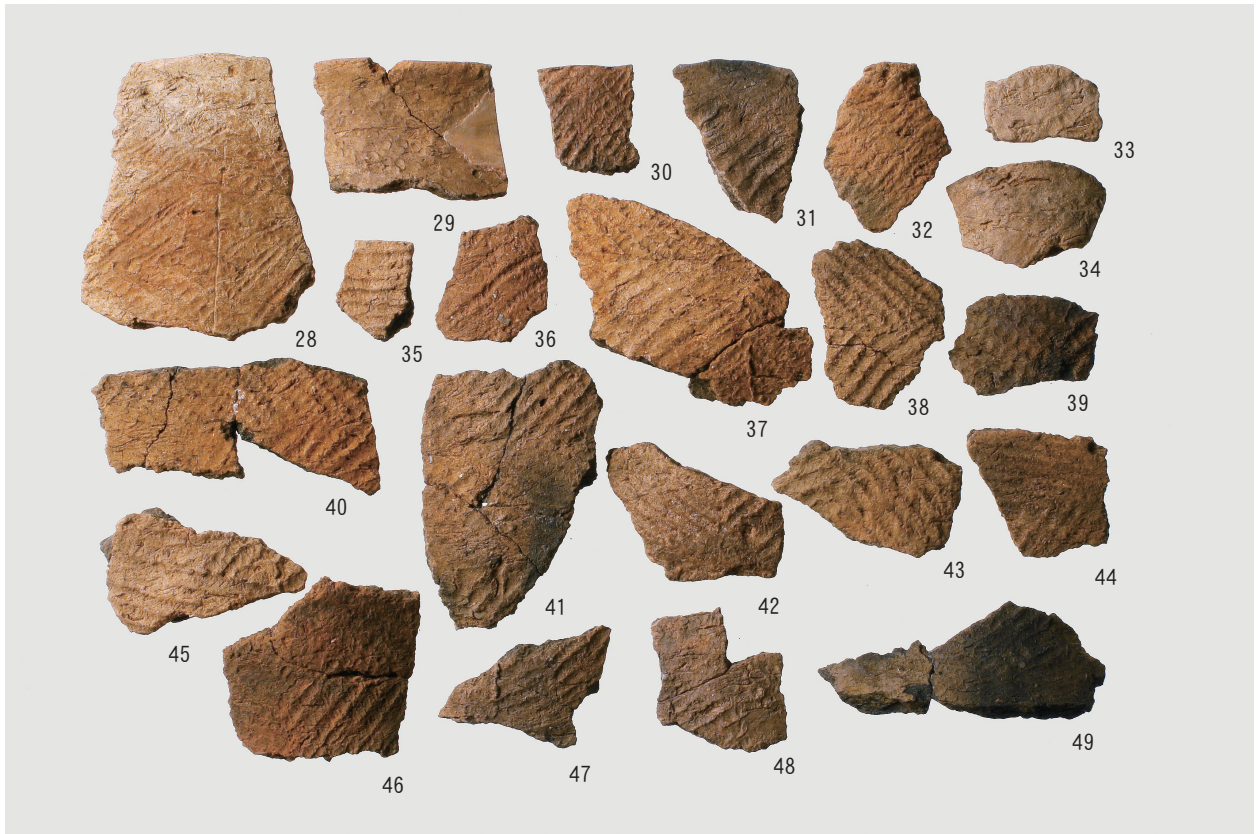
3 第1号住居跡出土遺物 (第11图3)



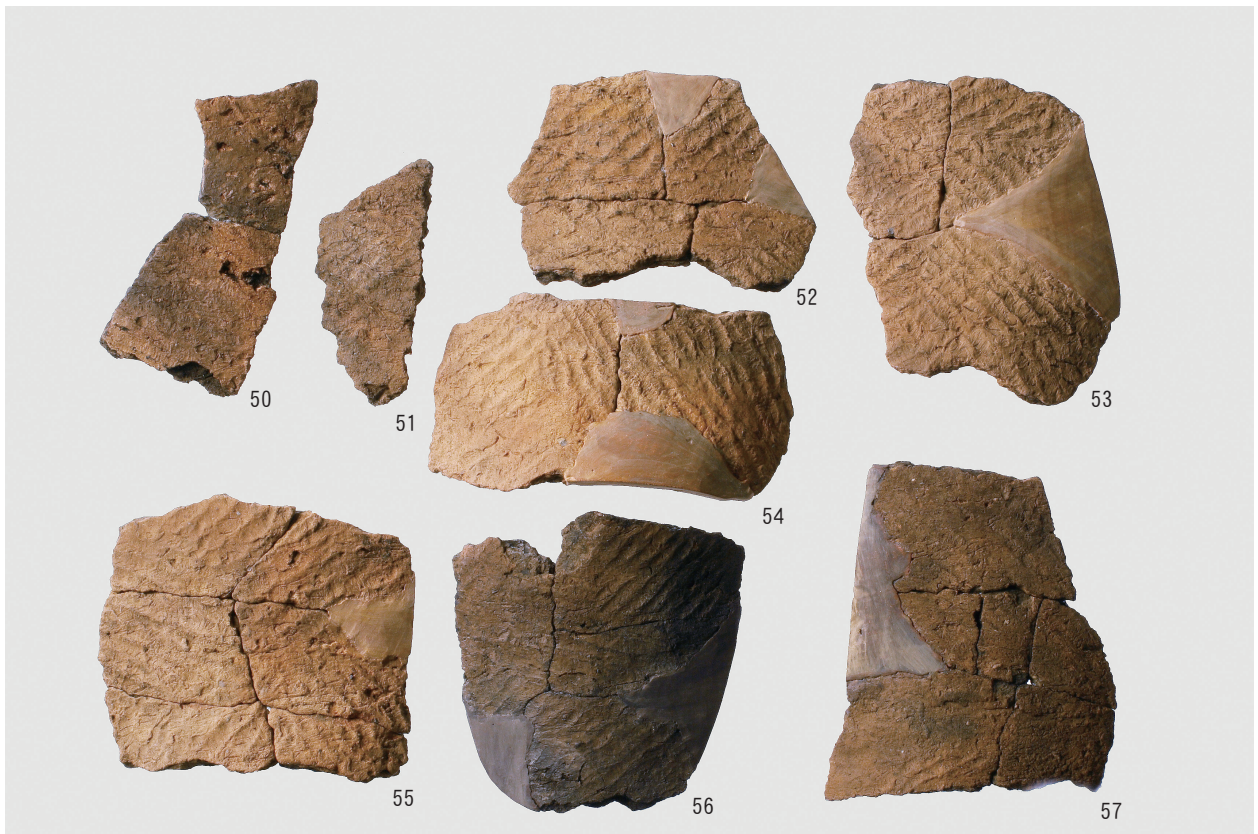
4 第1号住居跡出土遺物 (第11图4)



5 第1号住居跡出土遺物 (第11图5~27)



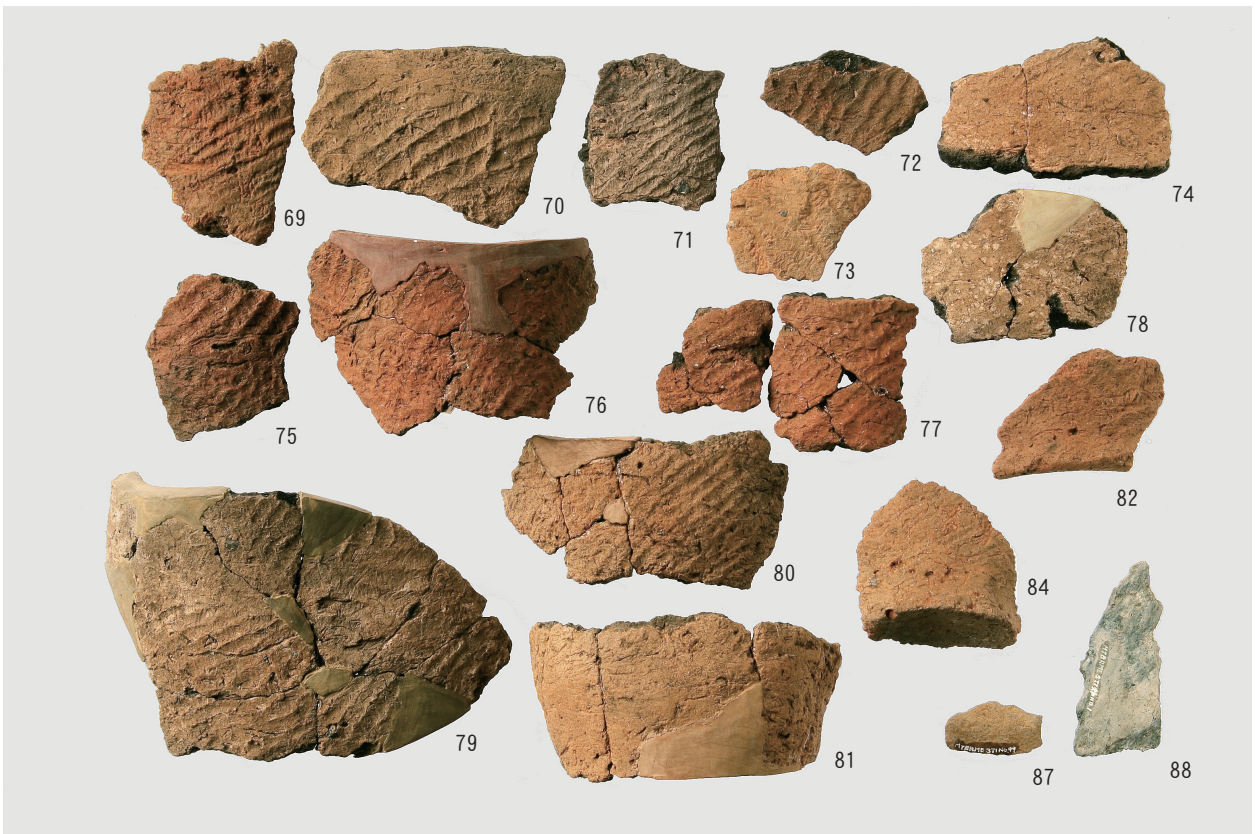
1 第1号住居跡出土遺物 (第12图 28 ~ 49)



2 第1号住居跡出土遺物 (第12图 50 ~ 57)



1 第1号住居跡出土遺物 (第13图 58 ~ 68)



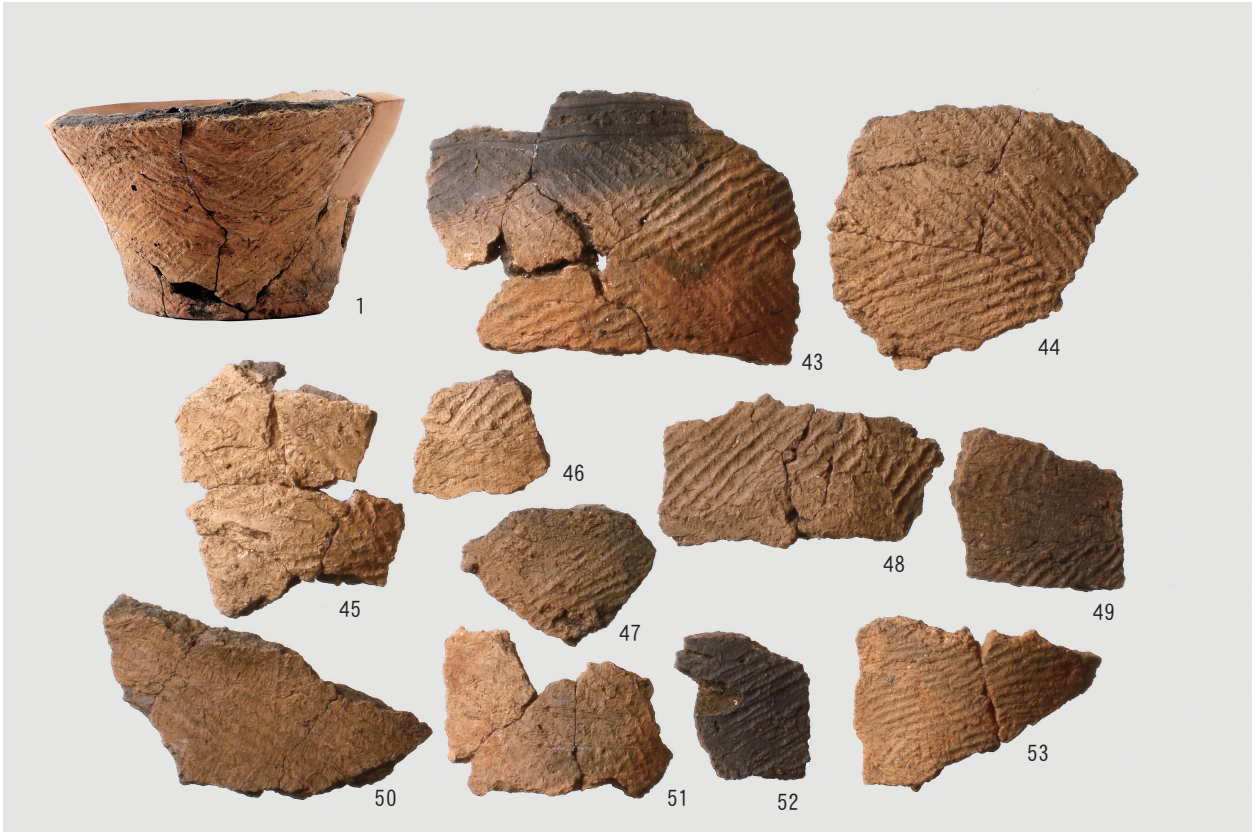
2 第1号住居跡出土遺物 (第13图 69 ~ 82·84 · 第14图)



1 第2号住居跡出土遺物 (第17图2~21)



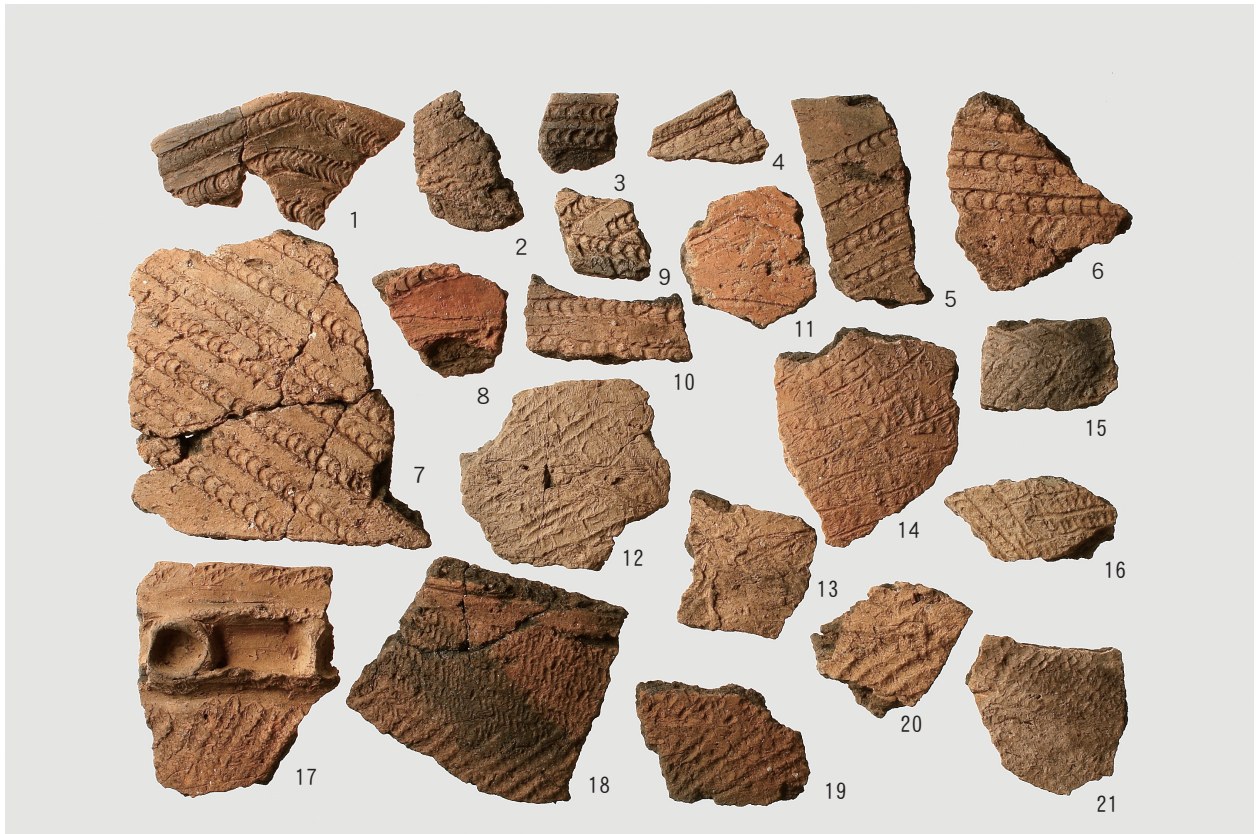
2 第2号住居跡出土遺物 (第17图22~42)



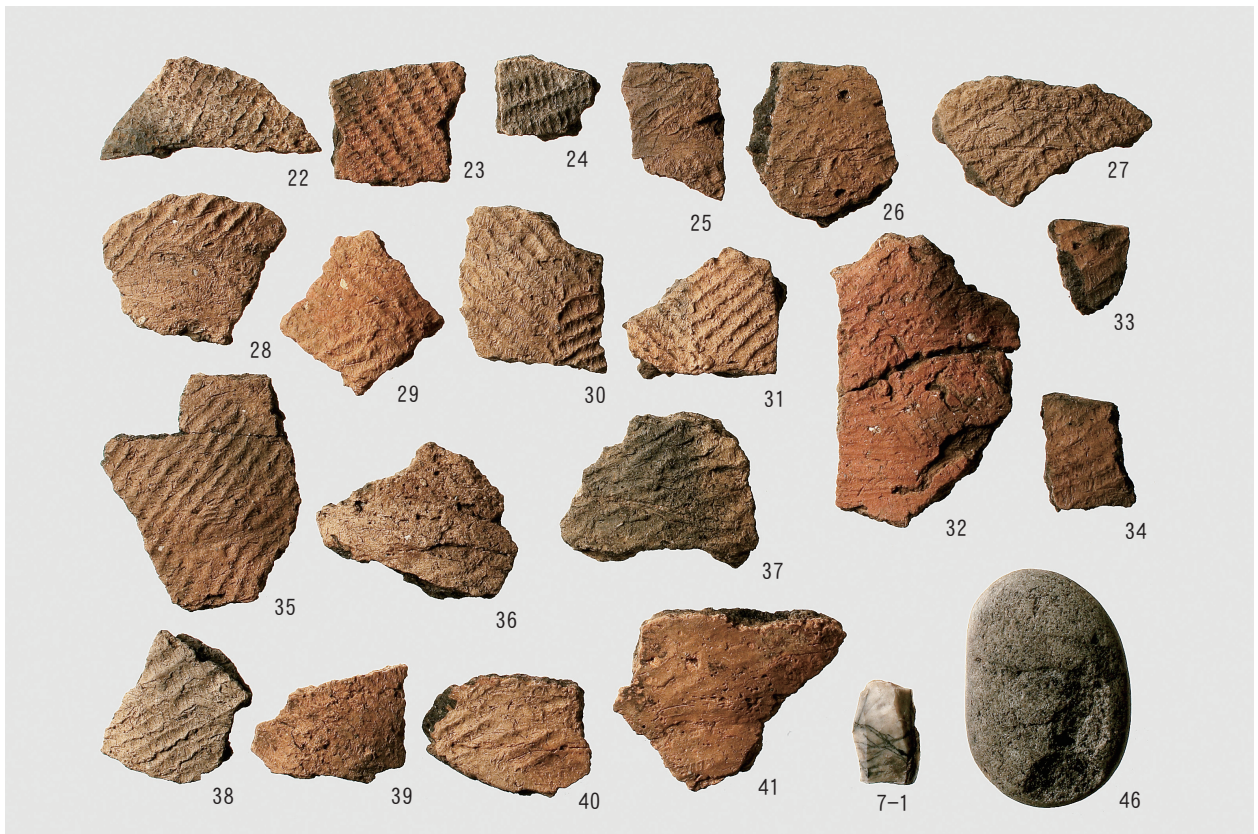
1 第2号住居跡出土遺物 (第17图1・第18图43~53)



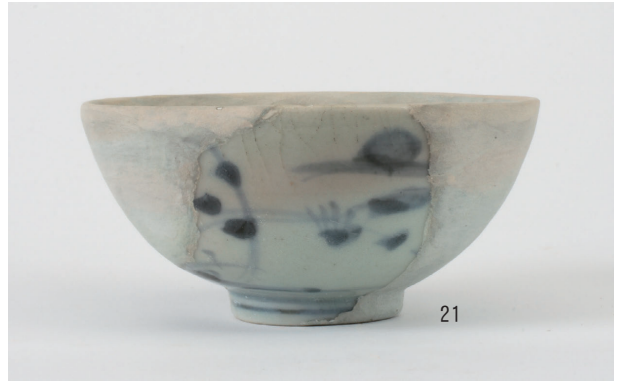
2 出土遺物抜粋 (第17图1・9・10・第20图17)



1 グリッド出土遺物 (第20図1～21)



2 グリッド出土遺物 (第20図22～41・46・第7図)



1 中・近世遺物 (第26図 5・8・第27図 20・21)



2 中・近世遺物 (第26図 3・4・6・7・10～12・第27図 18・19・22～24・28)



1 中・近世遺物 (第 27 図 27)



2 中・近世遺物 (第 26 図 17)



3 中・近世遺物 (第 26 図 15・16・第 27 図 29～31)

報告書抄録

ふりがな	まつばらまえ							
書名	松原前遺跡							
副書名	地方特定道路(改築)整備工事(主要地方道川越坂戸毛呂山線)関係埋蔵文化財発掘調査報告							
巻次								
シリーズ名	埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書							
シリーズ番号	第357集							
著者氏名	宮井 英一							
編集機関	財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団							
所在地	〒369-0108 埼玉県熊谷市船木台四丁目4番地1 TEL 0493-39-3955							
発行年月日	西暦2008(平成20)年12月26日							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (m ²)	調査原因
		市町村	遺跡					
まつばらまえいせき 松原前遺跡	さいたまけん 埼玉県 つるがしまし 鶴ヶ島市 おおあごみ がや 大字五味ヶ谷 131-2他	11241	022	35°56'37"	139°25'18"	20071101 ～ 20071228	550	道路建設
		種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項
			縄文	竪穴住居跡 土壇	2軒 1基	縄文土器・石器		黒浜式
		集落跡	中・近世	溝跡 土壇 ピット	1条 25条 9基	陶磁器・鉄製品・古銭		
要約								
<p>松原前遺跡は、東武東上線鶴ヶ島駅の北方約800mに所在し、越辺川と入間川に挟まれた入間台地上に位置する。台地は東方に向かって緩やかに傾斜し、調査地点の標高は28～29mである。</p> <p>発掘調査は、主要地方道川越坂戸毛呂山線のバイパス工事に伴うもので、調査区は底辺14m、高さ75mほどの細長い三角形状で総面積550m²という狭い範囲ながら、竪穴住居跡2軒のほか溝1条・土壇26基・ピット9基を検出した。</p> <p>竪穴住居跡は、何れも縄文時代前期中葉の黒浜式期のもので、同期の土器が遺構の内外から多量に出土した。土壇・ピットは、遺跡南側の谷部付近に集中して検出されたが、出土遺物がほとんどなく所属時期の特定は難しい。溝跡は、断面V字形で調査区北端で東に緩くカーブする状況が認められた。出土遺物より江戸時代後期に比定される。なお、E-3グリッドの立川ローム層上部から旧石器時代の剥片が出土した。</p> <p>以上、狭い範囲のなかで予想以上の成果が得られたが、特に縄文時代前期中葉の住居跡は市域でも初出であり、当該地域史に貴重な調査例を追加することとなった。</p>								

埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 第357集

松原前遺跡

地方特定道路（改築）整備工事（主要地方道川越坂戸毛呂山線）
関係埋蔵文化財発掘調査報告

平成20年12月19日 印刷

平成20年12月26日 刊行

発行／財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団
〒369-0108 埼玉県熊谷市船木台四丁目4番地1
電話 0493(39)3955

<http://www.saimaibun.or.jp>

印刷／朝日印刷工業株式会社